

# 寸言

サムテック株式会社  
北米現地法人  
SAMTECH International Co., Ltd.  
Vice President

山本 猛



## 高压容器で宇宙産業に貢献する

### はじめに

このたび、伝統ある日本航空宇宙工業会に入会させていただくことができ大変光栄に存じます。

### 事業/研究内容

サムテック株式会社は1913年に大阪で創業し、当時から金属の塑性加工を生業としてきました。現在は熱間鍛造技術を用いた自動車部品の素形材製造を主要事業とし、海外にもタイ、メキシコの2ヶ国に生産拠点があります。

弊社で培われてきた塑性加工技術をアルミニウムに応用し、アルミライナーを製造販売するSamtech International Inc. (SII) を1996年に米国ロサンゼルスに設立しました。また、2005年から本社に高压容器の製造部門が開設されType3 COPV容器製造販売を開始しました。このSIIと高压ガス容器部が弊社と航空宇宙産業との接点となります。

高压ガス容器部で製造販売されているType3 COPVとは、アルミライナーと呼ばれるアルミ製の薄い容器にカーボンファイバーを巻きつけて補強した高压容器のことです。このType3 COPVは軽量かつ高压に耐えることから様々な分野で広く利用されています。その応用分野の中に航空宇宙分野があり、航空機、ロケット、人工衛星などに利用されています。

SIIでは設立初期から輸送機用、衛星用のアルミライナー製品開発の実績がありました。現在では米国航空宇宙産業向けに、航空機用、ロケット用、衛星用などのライナー製造販売を行っており、これまでに200機以上の航空機及び100回以上のロケット打上げに弊社製品が使用された実績があります。

高压事業部では当初自動車産業向け高压容器に特化していましたが、2017年から航空宇宙産業

向け容器開発を開始しました。

### 特色

弊社の特色は製造技術と品質技術の高さとその柔軟な対応能力であると認識しています。航空宇宙産業の仕様を満たすためには、高精度、高洗浄度であることが求められます。また、高品質であることはもちろん、それに加えて顧客・用途によって品質要求が一品一様に変化します。弊社の製造技術と品質技術はそれらの要求に柔軟に対応することで顧客満足を勝ち取ってきました。

### 将来への努力

今後は弊社の特色である製造技術と品質技術にさらに磨きをかけることが課題の1つと考えます。より軽量の高压容器を実現するために、現在よりもさらに薄いアルミライナーの製造技術開発に取り組んでおり、SII-高压ガス容器部共同で超軽量高压容器開発も開始しています。品質技術では非破壊検査技術の研究をNASAの研究所に協力しながら進め、弊社でも独自開発した装置の導入を進めています。

もう1つの課題として販路の拡大が挙げられます。現在の米国での実績を拡大強化すること、並行して他の国での実績をスタートさせることに重点を置いています。特に日本、欧州、アジア、中東が有力と考えています。

### 入会の動機

今回入会させていただく前に、さまざまな会合にSJAC様と同行させて頂き多くの日本企業の方々の関係構築を助けて頂きました。その中で弊社の考える課題と同じような課題や問題意識が多数存在するのを感じました。工業会での情報共有や関係構築が弊社の課題解決に役立つことはもちろんですが、弊社が微力ながら工業会メンバー皆様の課題解決に役立てればと存じます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。